

(平成 29 年 6 月試験研究業務月報)

試験研究課題：高級菌根性きのこ栽培技術の開発

研 究

マツタケのシロ感染苗の作成

当センターでは、アカマツ林でマツタケを増やす研究の一つとして、試験地にあるマツタケのシロ感染苗（シロ^{※1}にマツ苗を植えてマツタケ菌を感染させたもの）を、様々な方法でマツの根を増やした場所に移植して新しいシロを作る研究を行っています。これまでの知見からシロを作るのに使えるシロ感染苗ができるには半年程度かかると予測されていましたが、菌の感染状況の調査のため、3月に植栽したマツ苗を6月に確認したところ、既にマツタケ菌に感染しており、予測より早くシロ感染苗を作成することができました。今後は、天然でシロの菌根が増加する7月の適期にシロ形成試験を行います。

※1 シロ…マツタケ菌が感染したマツの根とマツタケ菌の塊。マツタケはシロから生える。

※2 シロ形成試験…新しいシロを作る試験。現在は、シロの形成や定着の成功率を上げることが目的として行っている。



感染状況調査用のシロ感染苗
円筒部分の直径は5cm。裏面の半分以上で白いマツタケ菌が観察できる。

作成中のシロ感染苗（マツタケのシロの上に植えて感染中）